



みやざき柿の会ニュース

NPO法人KHJ全国ひきこもり家族会連合会

令和7年9月号

宮崎県柿の会

宮崎県ひきこもり支援委託事業

2025年度ひきこもり回復プログラム



9月14日(日) 宮崎市



ひきこもり 80-50問題を考える
親の介護がはじまったり、親が亡くなったとき、
ひきこもる子どもはどうなるのか!!

講師： 嶋田 喜代子さん（宮崎市議会副議長）

中高年のひきこもりは、145万人とも言われています。その中で、80代の親と50代の子どもとの親子関係での問題が深刻化してくることから、8050問題（はちまるごまるもんだい）と呼ばれています。この社会問題は、大阪府豊中市社会福祉協議会所属のコミュニティセンターソーシャルワーカー勝部麗子さんにより提唱されました。

今後さらに問題が顕在化してくる可能性が高いことから、早期発見、対策や支援方法が検討されています。



嶋田喜代子さん

◆プロフィール

児童福祉施設に18年間勤務（11年間は、養育里親関係のケースワーカー）。保育所に2年間勤務。特別養護老人ホームに18年間勤務（介護職・在宅介護支援センター・地域包括支援センター）。【資格】社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、保育士、介護支援専門員（ケアマネジャー）、カウンセラー。【役職】宮崎県介護支援専門員協会・顧問、宮崎市介護支援専門員協会・顧問、介護支援専門員実務研修講師、その他研修講師多数。主に障がい児・者、ひきこもり、高齢者、災害の問題に取り組んでいる。

嶋田さんにはこれまでも、80-50問題を踏まえ、専門知識の中から、参考になる話をしていただいています。

昨年は、

- 親自身のこと（認知症、延命治療、葬儀とお墓の管理など）
- 財産とその継承について（財産一覧、保険、不動産、負債）
- 子どもの事

子の基本情報、（いま抱えている病気・薬、過去にかかった大きな病気・ケガ、日常生活について、コミュニケーションについて、緊急連絡先、支援団体とのつながり）

- 親子の将来を考えるために、収入と支出、家系図などのテーマについて、お話しいただきました。

今回もそれらをテーマにお話ししていただきます。
何度でも聴いて、知識を自分のものにしたいものです。



■2025年9月14日(日) 13時半～16時半

《会場》宮崎市民プラザ 4階 中会議室

《対象》宮崎県柿の会会員、当事者、支援者、（その他500円）

●お問い合わせ先 宮崎県柿の会事務局 090-9603-8780

今後の例会の予定

2025年度

10月12日(日)精神疾患の方への
家族の対応について

11月 2日(日)ひきこもり支援ハン
ドブック勉強会と当事者の対談

■2025年8月17日(日) 例会の報告
～オープンダイアログから得られるヒント～

演題：少人数のグループを作って対話してみる!!

講師 臨床心理士会の先生方3名

《はじめに》

この日は盆明けの暑い日でしたが、20名余りの方の参加がありました。

初めに、宮崎大学の久保先生より、オープンダイアログについての説明と注意点を話ししていただきました。

【今回の約束事】

- 二つの島を作り、問題を抱えた一人が発言する。
- ファシリテーターがまとめていく。
- 参加者は、呼ばれたい名前を決め、その名で呼び合う。
- 参加者は本音でいうが、正論や支持はしないで、結論を出そうと思わない。
- 安全に、傷つけないように。分からない所は訊く。
- 対等である。

—— 本人の話を聴き、その形は一旦終わる ——

○その後、本人が居てもいなくてもいいので、聴いていた数人で感想を語り合う。

(不思議な場面である。結局皆さん、思い思いの話で盛り上がりました!!)

○最後に問題を抱えていて、初めに発言をした方から、今回の感想を聞きました。

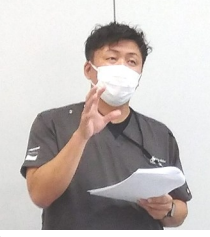
※「大勢の方が居て話しづらいと思いましたが、皆さんが熱心に聴いてくれたので良かった。また、ざっくばらんに自分の事を話してくれているのを聴いているうちに、心が少し軽くなりました」



訪問看護の専門職の方から
一ひきこもりのご家庭へー

「訪問看護・子供支援」について、訪問看護ステーションの「心奏」の竹井代表からお話を伺いました。「伴走支援」で、不安に寄り添っていただけます。

「小さな一歩が大きな希望になるように」。利用料は無料です。(ご希望の方は植田までどうぞ!!)



Aぐる一歩の島



Bグループの島



終わったあとは
会場に、
和気あいあいとした
空気が流れていました。



◆参考ビデオ(無料) NHK厚生文化事業団の福祉ライブラリー
ビデオシリーズ 「こころをケアする対話・オープンダイアログ DVD2枚組」

◆ダウンロードできます。

◆講演会でお話しの出た方：矢原隆行教授(熊本大学 大学院人文社会科学部 教授)



pixta.jp - 39827984



★都城支部だより

■令和7年9月の「都城例会」

《日時》9月14日(日)13時～15時

《会場》都城コミュニティセンター

■詳細は堀江さんまで 090-4581-5152

山根 俊恵先生 の講演会決定!!【都城講演会】

日時 2026年2月28日(土) 13:00～16:00

場所 未来創造ステーション 会議室1

宮崎県ひきこもり地域支援センター

(宮崎県総合保健センター 4 階精神保健福祉センター内)

〒880-0032 宮崎市霧島 1 丁目 1 - 2

専門の相談員が常駐し、親身になって相談に応じて
いただいています。楠の会会員も多数相談に訪れてい
ます。みなさんも、一度足を運んでみられてはいかがでしょうか。

■電話相談

0985-27-8133

0985-44-2411

※受付時間 8:30～17:15

■来所相談 電話相談の後、予約して来所。

■訪問支援 本人の状況や気持ちに合わせます。

■家族教室開催 各地保健所

一度登録すれば、親に何かあった時、必ず相談に乗ってもらえます。勇気を出して相談に行きましょう。秘密は厳守されます。

★日南支部だより

■令和7年9月の「日南例会」

《日時》9月20日(土) 13:30～15:30

《会場》日南生涯学習センターまなびピア

■詳細は田中さんまで

電話 090-5949-8843

◎結の会(旧、おしゃべり会)→9月27日第4(土)

13:30～15:30

(まなびピア和室)

■結の会担当 川野 080-5417-3760

★小林支部だより

■令和7年9月の「小林例会」

《日時》9月21日(日)(第3日曜)

13:30～15:30

《会場》小林市福祉センター別館

◆問い合わせ 小林市社協 大学さん

電話 0984-23-3466

宮崎県楠の会【若者の居場所】のお知らせ

宮崎県楠の会では若者のための居場所

『つなぐ』を開設しています。

気軽においでください。

◆対 象 ひきこもり、ニート、発達障がい、
精神 障がい等生きづらさを感じてい
る当事者、経験者のみなさん。

◆日 時 9月20日(土) pm2時～5時

◆会 場 南宮崎駅前アーケード内
エデュコラボ
(宮崎市大淀4丁目5-25)

◆担当者 さがりふじ 下り藤さん
電話 090-5385-7651

〒880-0944

宮崎市江南4丁目9-9 植田方

電話: 090(9603)8780 植田

ひきこもりの子を持つ親の会

「宮崎県楠の会」

NPO法人 KHJ全国ひきこもり
家族会連合会「みやざき楠の会」ニュース会員約110名
援助会員約80名ホームページは
宮崎県「楠の会」で 検索

相談、家庭訪問

◆相談電話《無料》

面談の方はあらかじめ植田までご予約ください。

※緊急の場合はいつでもご相談ください。



◆「宮崎県楠の会」若者就労支援 (賃金あり)

- ・イオン アイカルチャーの清掃
- ・郵送作業 ・食品配布の手伝い
- ・宮崎市の公園清掃

担当 佐川さん

【ひきこもりの相談を受けたい方 受付中!】

宮崎臨床心理士会の先生方が、楠の会の会員に向けて、相談会を開催してくださっています。家族の事情、ご自身の生きづらさなど聴いていただくことで、心が軽くなります。ご希望の方は、植田までご連絡ください。



みっちゃん



2025年9月の計画

日	月	火	水	木	金	土
	1 公園清掃	2	3	4 公園清掃	5	6
7 イオン清掃	8 公園清掃	9	10	11 公園清掃	12	13
14 宮崎例会 食品配布 都城例会	15 敬老の日 公園清掃	16	17	18 公園清掃	19	20 日南例会 若者居場所 食品配布
21 イオン清掃 小林例会	22 公園清掃	23 秋分の日	24	25 公園清掃	26	27 日南 結の会
28	29	30 郵送作業				

フードバンクみやざき
からの食品配布日

- ◆ 9月14日(日)
「宮崎例会」
- ◆ 9月20日(土)
「つなぐ」エデュコラボ
(若者居場所)

郵送作業

9/30
(火)10時~11時半
市民プラザ3階

※簡単な作業です。
お手伝いのご協力よろしく
お願いします。
※当事者の方には
謝礼あります。